

動物実験に関する自己点検・評価報告書

日本薬科大学

平成 28 年 2 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

日本薬科大学動物実験指針、「日本薬科大学動物実験指針」に関する運用内規

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本指針に基づき、機関内の指針として、「日本薬科大学動物実験指針」を定めている。しかしながら、機関内指針中で実験終了の報告や教育訓練の実施、情報公開に関することが記載されておらず、指針の改正が必要である。

4) 改善の方針、達成予定期

平成 27 年度に機関内指針の改正を実施する。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

日本薬科大学動物実験指針、動物実験倫理委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

本学動物実験指針に基づき、動物実験倫理委員会を設置し、適正に運営されている。

4) 改善の方針、達成予定期

記載事項なし

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

日本薬科大学動物実験指針、「日本薬科大学動物実験指針」に関する運用内規、動物実験計画書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

本学動物実験規程に、実験計画を立案し所定の様式で申請、審査、承認するよう定めている。動物実験計画書は、3R に留意し実験内容を立案、記載する様式となっている。しかしながら、実験の終了報告の制度が整備されていない。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成 27 年度から機関内指針を改正し、実験終了の報告書の提出を実施する。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

記載事項なし

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

遺伝子組換え実験、感染動物実験および放射性同位元素・放射線使用実験については実施していない。

4) 改善の方針、達成予定時期

記載事項なし

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験動物搬出入記録、動物実験計画書、動物飼育室（研究実習棟 3 階）の使用に関する取り決め

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

日本薬科大学動物実験指針が適正に定められ、運用されている。既存の施設ではあるが、新たに実験動物飼養施設の申請と動物実験倫理委員会の承認が必要である。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成 28 年度に実験動物飼養施設の申請と審査を実施する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

日本薬科大学動物実験指針、動物実験倫理委員会名簿、委員会議事録、動物実験実施の手引き、動物実験計画書一覧

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験結果報告書がない。

4) 改善の方針、達成予定期

平成 27 年度 3 月に対象者に報告書を依頼する予定。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書一覧、動物実験計画書、動物実験棟入室記録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

日本薬科大学動物実験指針が適正に定められ、運営されている。

4) 改善の方針、達成予定期

記載事項なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験計画書一覧、動物実験計画書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

遺伝子組換え実験、感染動物実験および放射性同位元素・放射線使用実験については実施していない。

4) 改善の方針、達成予定時期

記載事項なし

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験実施の手引き、業務週報、実験動物搬出入記録、動物実験計画書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼育保管は日本薬科大学動物実験指針が適正に定められ、適正に実施されている。必須ではないが、研究棟 3 階動物飼育室専属管理者が不在の施設がみられる。

4) 改善の方針、達成予定時期

安全管理および適正な動物実験管理のため、常駐が望ましい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験実施の手引き、業務週報、保守点検の書類、落下細菌試験結果

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

機関内の施設は、適正に維持管理されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

記載事項なし

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験実施の手引き、教育証明証

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験を実施する学生に対し、教育訓練を行っている。しかしながら、指針の改正や施設使用法の徹底を図るため、学生だけでなく教員も対象にして教育訓練を実施する必要がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

平成 28 年度より学内での動物実験を実施するものを対象とした講習会を実施する。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

日本薬科大学ホームページ、現状調査票

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

自己点検・評価ならびに第三者による検証の報告書を公開する必要がある。

4) 改善の方針、達成予定時期

自己点検・評価は HP 掲載の承認が得られた後、公開する。第三者による検証は平成 28 年度 3 月に実施予定であり、結果が出次第、公開する。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）